

## 2013 年度 日本建築学会中国支部研究発表会

主催——日本建築学会中国支部

日時——同時開催事業：2014 年 3 月 1 日（土）13:00～17:00

研究発表会：2014 年 3 月 2 日（日） 9:30～17:00（予定）

会場——広島大学工学部（広島県東広島市鏡山 1-4-1）

### ●同時開催事業

「シンポジウム：地震，戦争，大災害と建築」

自然災害（地震，津波，台風，水害）と人工災害（戦争，環境破壊，原発事故，公害）は様々なレベルで建築の思想と技術に対して大きな影響を与えてきた。本催しは自然災害と人工災害が建築に与えてきた警鐘とそれに応じた建築の対応について論じることで，災害という切り口でこれからの建築の有り様について考察する機会をつくる。

主旨説明：岡河 貢（広島大学准教授）

講師：

- ・石丸紀興（広島諸事・地域再生研究所代表，広島大学名誉教授）

原爆と戦後復興関連

地震，戦争は本質的に異なる災害・被害であり，復興建築としての主要テーマも異なる。建築が政策的に利用されたり，建築家が社会の要請に答えるには過酷な課題の中で必ずしも力を発揮できない状況にあったりすることを試論的に展開する。

- ・杉本俊多（広島大学教授）

戦後復興期における建築のパラダイム転換

ベルリンでは，19 世紀初頭のナポレオン後にロマン主義が，また 20 世紀初期の第一次世界大戦後には表現主義が隆盛を見，いずれもユートピア的な建築運動を伴ったが，そこには建築と社会が一体となって社会進化を起こすという，ある普遍的な現象が見いだされる。

- ・武村雅之（名古屋大学教授）

科学技術と防災－関東大震災が語る真実

近年科学技術の進歩は著しいが，その割には地震の被害が軽減されてきたように思えない。何故だろうか？ 関東大震災の東京での未曾有の被害を通じて，現代病とも言える科学技術への無条件な依存の危険性を考える。地震災害は我がことであり決して他人ごとではない。

- ・布野修司（滋賀県立大学教授）

戦後復興と東日本大震災復興

大規模な自然災害が露わにするのは，それぞれの地域が拠って立っている基盤である。

災害に備えるということは日常的に地域のあり方を問い、その基盤を安全、安心に、快適につくりあげることである。それでも大災害を受けるとすれば、それは人工災害でもある。問われているのは地域計画の思想である。

パネルディスカッション

モデレータ：岡河 貢（広島大学准教授）

- ・日時：2014年3月1日（土）13：00～17：00（受付：12:30）
- ・会場：広島大学工学部 218 講義室（広島県東広島市鏡山 1-4-1）
- ・参加費：無料

#### ●懇親会

- ・日時：2014年3月1日（土）18:00～20:00
- ・会場：広島大学学士会館 ラ・ボエム（シンポジウム会場より徒歩5分）
- ・参加費：一般 6,000 円 学生：3,000 円

※ 1年に1度の支部懇親会です。奮ってご参加下さい。

- ・問合せ・申込み先：2月15日（土）までに参加をお申し込み下さい。

広島大学大学院工学研究科 建築学専攻 山西央朗

Tel 082-424-7840, Fax 082-424-7839

E-mail: [yamanisi@hiroshima-u.ac.jp](mailto:yamanisi@hiroshima-u.ac.jp)

※ お帰りのバス便は、広大中央口を20:22発か、21:17発の西条駅行きにご乗車下さい。

#### ●研究発表会

- ・日時：2014年3月2日（日）9:30～17:00（予定）
- ・会場：広島大学工学部（広島県東広島市鏡山 1-4-1）
- ・受付：116 講義室
- ・参加費：会員以外の一般参加者（学部生，大学院生を除く）は，参加費 1,000 円を，当日，会場受付でお支払い下さい。
- ・講演時間：1題当たり10分（発表7分・質疑3分）
- ・発表の為の設備・機器：各会場にパソコン用液晶プロジェクターを配備します。ノート PC をご持参下さい。
- ・聴講の方法：聴講に際して梗概を参照する際はノート PC をご持参いただくか，必要な部分を予め CD から印刷してご持参下さい。
- ・報告集：発表者には2月下旬に研究報告集（CD版）をお送りします（研究機関ごとに発送します）。
- ・休憩室：105 講義室，113 講義室を休憩室としますのでご利用下さい。食事などもしていただいても構いませんが，ごみは必ずお持ち帰り下さい。

- ・喫煙室：広島大学東広島キャンパスは、屋内外とも構内全面禁煙ですのでご協力をお願いいたします。喫煙は定められた喫煙室（工学部講義棟地階にあります）のみで認められています。

#### 各分野の発表時間帯と発表会場

・材料施工	9:30～11:30	第1室（104 講義室）
・構造 A	9:30～14:50	第2室（106 講義室）
・構造 B	9:30～15:50	第3室（107 講義室）
・防火	15:50～16:00	第3室（107 講義室）
・環境工学 A	9:30～16:00	第4室（108 講義室）
・環境工学 B	9:30～12:00	第5室（109 講義室）
・建築計画	9:40～15:20	第6室（110 講義室）
・農村計画	13:00～13:50	第5室（109 講義室）
・都市計画	9:30～16:30	第7室（112 講義室）
・建築歴史・意匠 A	9:30～15:20	第8室（114 講義室）
・建築歴史・意匠 B	13:00～14:50	第9室（115 講義室）
・建築経済・住宅問題	9:30～10:50	第9室（115 講義室）
・地震災害	10:50～11:30	第9室（115 講義室）
・教育	11:30～11:50	第9室（115 講義室）

上記の発表時間帯は予定です。プログラムに関する最新の情報、並びに、演題や発表者、司会等の詳細については支部 HP (<http://news-sv.aij.or.jp/cyugoku/>) をご参照ください。

#### ●発表会当日の昼食について

3月2日（日）は、予約制で弁当の申込を受け付けます（当日は、学生食堂も営業しておりませんし、会場近くの徒歩圏内にコンビニ等もありません）。当日、昼頃に会場受付付近で販売します（お茶付きで1個1,000円）。

- ・問合せ・申込み先： 2月15日（土）までにお申し込み下さい。

広島大学大学院工学研究科 建築学専攻 山西央朗

Tel 082-424-7840, Fax 082-424-7839

E-mail: [yamanisi@hiroshima-u.ac.jp](mailto:yamanisi@hiroshima-u.ac.jp)

#### ●発表会当日の調査研究委員会の開催予定

- ・構造委員会 第3室（107 講義室）
- ・計画系4委員会合同委員会 第9室（115 講義室）
- ・環境工学委員会 第4室（108 講義室）

上記の3委員会はいずれも当日の昼休憩時（12:00～13:00頃）に開催されます。

- ・材料施工委員会（13:00～15:00） 休憩室（105 講義室）

●会場までの交通手段

・路線バス

大学会館前着：JR 西条駅前（3 番乗り場）から芸陽バスまたは JR バス「広島大学」行で約 20 分（大学会館前は，広大中央口から数えて 6 番目のバス停です。発表会当日は受付を大学会館前近くに設けておりますので，他のバス停ではなく大学会館前で下車して下さい）。料金は片道 280 円。

バスの時刻表：<http://www.geiyo.co.jp/Unyu/daigakuH25-3.htm>（土曜日・日曜日・祝日の欄をご参照下さい）

・タクシー

JR 西条駅または JR 東広島駅から約 15 分，約 2,000 円

・自家用車

大学構内の駐車場にはかなりの余裕があります。懇親会にご出席いただく場合など，3 月 1 日から 2 日にかけて 1 泊で駐車していただいても構いません。ただし，構内では必ず駐車場に駐車し，路上駐車は絶対にしないようにして下さい。

●問い合わせ先

広島大学大学院工学研究科 建築学専攻 田中貴宏

E-mail: [ttanaka@hiroshima-u.ac.jp](mailto:ttanaka@hiroshima-u.ac.jp) TEL : 082-424-7866